

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	区有施設保全				所管	総務部	
						施設課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)		
	長期総合計画体系	[基本目標]					事業の開始・終了年度
		[小 柱]					
		[施 策]					
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	建築基準法			
	事業対象	一般区民					
	事業目的	計画的かつ効果効率的な施設の維持保全を図ることにより、施設利用者等の安全を図る。					
	事業内容	<p>(1)施設定期点検の実施……建築基準法に基づき、施設の用途・規模に応じて、建築は3年毎、建築設備は毎年、定期点検を実施する。同じく建築基準法施行令改正により、竣工後10年を超えた建物の外装材全面打診等の点検を計画的に実施する。</p> <p>(2)施設保全システムの活用……区有施設情報(施設基本情報、各部位、空調、電気等)を一元管理する事で、効果効率的な工事計画を立案する。</p> <p>(3)公共施設保全計画の策定……予防保全型管理の推進と計画的な施設の改修を実現するための計画を策定する。</p>					
委託の有無	一部委託	委託内容	定期点検:延床面積2,000㎡以上の53施設について定期点検を委託				
補助金の有無	なし		保全計画の策定:データ整理及び情報収集と計画の策定を委託				
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度
	活動指標	施設法定点検の施設数	件	126	123	124	125
		外壁全面打診調査実施	件	4	0	0	0
	成果指標	区有施設不具合緊急対応件数	件	30	-	-	34
		(予防保全により件数を減らす)					
	決算額	(単位:千円)			7,324	7,320	9,460
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			18,759	6,972	30,326
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			7,324	7,320	9,460
		(単位:千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0
		総経費			26,083	14,292	39,786
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
	(単位:千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
	一般財源(区負担額)			26,083	14,292	39,786	
前回評価から改善した事項	老朽化した施設を計画的に整備していくために「台東区公共施設保全計画」を策定した。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	区有施設の多くは建設から年数が経過し老朽化が進行している。そのため、点検により施設の劣化状況を把握するとともに施設を計画的に整備し安全性を確保することは、区民が安心して施設を利用するために必要である。				
	効率性	4	保全計画に従い、劣化度の高いものから優先的に改修を実施することで効率的に施設の保全を図っている。				
	手段の適切性	3	保全計画で定めた施設整備の方針を踏まえ、計画的に維持保全を推進していくことは有効である。また、点検については、規模の大きな施設を委託することにより合理的に劣化状況を把握している。				
目的達成度	4	公共施設保全計画を策定し施設整備の方針と実施計画を示した。また、建築物の定期点検についても各施設の現状を的確に把握している。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
公共施設は区民にサービスを提供する重要な役割を担っており、施設利用者の安全・安心を確保するためには、計画的かつ効果効率的な施設の維持保全を図ることが重要であり、今後も事業を維持する必要がある。					維持		